第 14 回　日本統合医療学会　IMJ2010 徳島大会

アルコールのマウス腸管上皮損傷に対する「生源」の保護作用の電子顕微鏡的評価

阿部一彦 1)大縄悟志 1) 新　良一 1) 金内長司 1) 水谷武夫 1) 三浦竜介 2) 関口守衛 3) 西川俊郎 4) 小林槇雄 5) 1)(株)エイ・エル・エイ中央研究所 2)(株)シー・エム・シー 3)ドイツ文化会館・赤坂関口クリニック 4) 東京女子医科大学・病理診断科 5) 東京女子医科大学・第一病理

乳酸菌混合発酵産物からなるサプリメント「生源」によるアルコール(AL)の十二指腸上皮の密着結合(TJ)損傷の抑制能の有無を超微形態学的に評価した。

【方法】

7 週齢の BALB/c マウス(雄)を通常飼育群と 1%「生源」添加飼育群の 2 群に分けた。1 週間飼育後、2 群のマウスに 15%AL 溶液単独と 1%「生源」添加 15%AL(SG+15%AL)溶液を 0.5ml 経口投与した。5 分後の十二指腸の TJ の変化を透過電子顕微鏡にて評価した。【結果】1)通常飼育群の解析:15%AL 溶液単独及び SG+15%AL 溶液の場合、共に TJ は損傷して観察された。2)1%「生源」添加飼育群の解析:15%AL 溶液単独の場合の TJ は損傷して観察された。一方、SG+15%AL 溶液の場合は、コントロールの TJ と同様に正常像として観察された。

【結論】

「生源」は AL による腸管上皮の TJ の損傷を抑制することが明らかとなった。